

平成30年度いばらきっ子郷土検定 問題と解説

龍ヶ崎市 解説

組	番	氏名
---	---	----

番号	解 説	答
1	龍ヶ崎市の花に制定されている花は、 桔梗(ききょう) です。桔梗は龍ヶ崎城主土岐氏の家紋で、花も清楚で美しいことから、市の花に制定されました。	4
2	龍ヶ崎市の木に制定されている木は、「 松 」です。松は、龍ヶ崎城主土岐氏(ときし)が治水のために並木通りに植えた木です。縁起がよく、龍ヶ崎の気候・風土にも適していることから、市の木に制定されました。	1
3	龍ヶ崎市の鳥に指定されている鳥は、「 ハクチョウ 」です。牛久沼の水面を優雅に泳ぐハクチョウのまばゆいばかりの純白の姿が、あたたかい市民の心を象徴しているということから市の鳥に制定されました。	3
4	龍ヶ崎市の総面積は、 78.55平方キロメートル です。	4
5	1954年(昭和29年)3月20日 に龍ヶ崎町外6か村(大宮・長戸・八原・馴柴・川原代・北文間)が合併、市制を施行し、龍ヶ崎市となりました。	2
6	龍ヶ崎市の市章は、 龍が3本のつめで玉をつかんでいる様子 をデザイン化したもので、天に昇る龍から、発展する龍ヶ崎市をイメージしています。	1
7	2018年(平成30年)6月1日現在、龍ヶ崎市の人口は77,586人で、 約78,000人 です。	2
8	撞舞(つくまい)は、 高さ14メートルの柱 に笛や太鼓の囃子に合わせて暗緑色のたっつけ袴に蛙の面をかぶった「舞男」が登り、様々な曲芸を演じます。撞舞は、古代に中国から伝来した散楽の流れを汲む蜘蛛舞からきたものといわれ、疫病予防・雨乞い・豊作などを祈って行われます。	2
9	水戸街道の 若柴宿 は江戸から数えて、8番目の宿場にあたります。水戸街道は江戸と水戸とを結ぶ重要な街道で、現在の国道六号線や常磐線に沿ったところを通っています。	3
10	般若院(龍ヶ崎市根町)に、 樹齢450年 と推定されるシダレザクラがあります。このシダレザクラはエドヒガンの園芸品種で、高さ10メートル以上、周囲約5メートルの巨木です。シダレザクラの巨樹・老樹として茨城県の天然記念物に指定されています。	1
11	野口啓代(のぐちあきよ)さんは、龍ヶ崎市出身のプロフリークライミング選手です。2018年ボルダリング・ジャパンカップ優勝。過去にワールドカップで4度、優勝した経験をもつクライミング界の女王で、世界に誇る実力を持つ選手です。	4
12	「龍ヶ崎観音」として古くから親しまれている下町の龍泉寺において、毎年7月10日の縁日に「 ほおずき市 」として開催されている年中行事です。境内には屋台が立ち、ほおずきの鉢が立ち並ぶ様子は当市の夏の風物詩としておなじみの光景となっています。	2
13	龍ヶ崎市内上町・中央公園に移築・保存された旧諸岡家住宅の赤レンガ門が、平成30年5月10日、国の登録有形文化財として登録されました。現在、赤レンガ保存実行委員会では、記念パンフレットを作成中です。正式名称は、登録有形文化財「 旧諸岡家住宅煉瓦門及び塀 」。	3
14	「子育ての浅間様」で名高い 富士浅間神社 の祭りは、旧暦6月1日に行われます。子どもの健やかな成長を願って、誕生から数え年7歳まで、毎年続けて登山し祈願するならわしとなっています。	2
15	北文間小学校1年生でサッカーをはじめ、愛宕中学校サッカー一部、3年生で柏レイソルU-15、U-18を経て2015年に 柏レイソル でJ1デビュー。2017年には、U-20日本代表の一員として、U-20ワールドカップで全試合フル出場を果たしました。2020年東京オリンピックの代表を目指す、本県期待のアスリートです。	1
16	ビニールのパック容器に主菜・副菜を入れた パック方式 を取り入れていました。当時、日本中でも珍しい方式でした。	4
17	龍ヶ崎市内のほぼ中心に位置する城址であり現在では 竜ヶ崎第二高等学校 の敷地となっています。高校へ登る階段の下に龍ヶ崎市の歴史を刻んだ石碑があり龍ヶ崎城のことが詳しく触れられています。	4
18	JR常磐線佐貫駅と龍ヶ崎市の中心部を結ぶ、4.5キロメートル、所要時間7分の路線です。田園風景の中をのんびりと走る竜鉄は、茨城県で最も古い私鉄で、 1900年(明治33年) に開通しました。線路は全線単線で、佐貫駅、入地駅、龍ヶ崎駅の3駅。	2
19	岡野功(おかのいさお)は、竜ヶ崎第一高等学校を卒業後、大学に進学し、大学在籍中の1964年(昭和39年)、東京オリンピック柔道中量級で金メダルを獲得しました。翌年の世界選手権でも優勝し、柔道中量級の 世界トップ の選手となりました。	3
20	龍ヶ崎トマトは「 レディーファーストトマト 」という希少価値の高いトマトです。特に、先端に「 金色のすじ 」が入ったトマトは絶品です。龍ヶ崎市はこのトマトの産地として、平成12年度に茨城県の青果物銘柄産地に指定されています。	1
21	龍ヶ崎市では、明日の龍ヶ崎を担う心豊かでたくましい子どもたちを育成するため、 11月5日(いい子の日) を「龍ヶ崎教育の日」と定めています。	4
22	中学生が、日常生活の中で感じたことや考えていることを広く社会に訴えることで、社会との関わりを深めることなどを目的に毎年県大会を開催しています。40回目となる今年度は龍ヶ崎市を会場に開催されます。 少年の主張 は県内全中学校から募集し、選出された10名の中学生が主張発表をします。	2
23	まちづくりポイント制度はより多くの市民の方に、龍ヶ崎のことに興味をもって市民活動に参加してもらおうきっかけづくりとしてスタートしました。市が指定した活動に参加し、「 ためっぺシール 」を集めると、龍ヶ崎の名産品や湯ったり館の入館券、コミュニティバスの回数券など、色々なものと交換できます。	3
24	2015年に一般公募により決定しました。高低差10メートル、全長30メートルの まいりゅうのしっぽ は、県内(ローラー滑り台除く)では最も長い滑り台です。超高分子量ポリエチレンで動摩擦係数がテフロンに次いで低いため、今までにない滑走感。ローラーでないため、お尻が痛くありません。	4
25	龍ヶ崎市たつのこアリーナで スポーツ吹矢 の開催が予定されています。5～10メートル離れた円形的に腹式呼吸を使って5本の矢を放ち、その合計得点を競い合うスポーツです。	3